

2010年8月29日(日)

9:30 ~ 9:40

CRT 栃木放送

両毛支局にて収録

2学期の過ごし方を考える

- 目標をもって2学期を迎えよう -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに - 「子ども手当」より「学校にエアコン」を -

(1) 今年の夏は暑かった。最近、4月下旬から10月下旬まで暑いと感じられる日が多くなった。6月、7月、9月、10月の4か月間は特に暑い。特に学校の教室は暑い。子どもは熱を発するので、教室の温度が高まるからだ。

(2) もっと言えば、5月から11月初旬まで、暑くて授業にならない学校が多いのではないかと。「子ども手当」を考えるのもいいが、「学校にエアコン」を整備したらどうか。

(3) 「政治」とは何か。私は「税金」つまり「予算」の配分、使い方のことだと考える。Wise Spending (ワイズ・スペンディング) 「賢いお金つまり税金の使い方」という言葉がある。「子ども手当」に税金を使うよりは、「学校の教室にエアコンを入れること」に税金を使うことのほうが Wise Spending、賢い税金の使い方ではないかと私は考える。皆様はどうお考えでしょうか。

2. 2学期の過ごし方 - 目標をもって2学期を迎えよう -

(1) ただ慢然に過ごしていると、2学期、つまり9月、10月、11月、12月の4か月間も「アッ」という間に終わってしまう。

(2) そこで、自分なりに2学期をどのように過ごしたらいいのか、目標をもつことをお勧めします。

(3) 目標はどのようなものでもよいと思います。例えば.....。

休まず、また、遅刻や早退をすることなく2学期を過ごそう。

部活動をしっかりやろう。

本を毎週一冊読もう。

新聞を毎日30分読もう。

定期テストでよい点を取ろう。

机の上を片付けよう。カバンの中を整理しよう。部屋を1日1回掃除しよう。「整理」「整頓」

「掃除」をし、「清潔」にすることを自分の意思で自主的にしよう。(「躰」を身につけよう)

* 自分一人で「5S」を試みよう。

病気を治療してしまおう。

(4) どのような内容でもよいですから、自分なりに 2 学期はどのように過ごすのだという目標を決めると、今までとは少し違った充実した 2 学期になりますよ。

(5) 日本には春・夏・秋・冬の 4 つの美しい季節、「四季」があります。2 学期は、夏の終わりと秋の始まり、本格的な秋、秋の終わりと冬の始まり、このように 1 年の 4 つの美しい季節のうち、3 つの季節を味わうことができます。季節を感じられる行事に参加したり、場所に出掛けたりすることも趣(おもむ)き深いことかと思えます。

(6) 私は、美しい日本の四季のうち 3 つの季節が感じられるこの秋は、中学校や高校の時に読んだ清少納言の「枕草子」や吉田兼好の「徒然草」など「日本の古典」に親しもうかと考えています。

3. おわりに

(1) 読書の秋ですので、9 月に入った今週から本を一冊ずつ紹介させていただきます。

(2) この超円高と大不況をどう乗り切ったらよいかをお考えの方に参考になるのが、C.コリンズ著の 50 年、100 年と続く超優良企業の条件とは何かを調査した結果をまとめた「ビジョナリー・カンパニー」(日経 BP 社刊)です。その会社独自の基本理念、どのような困難な時代を迎えたときでも変わらない基本的な考え方を持ち続けた会社、それを次の世代に引き継いだ会社、仕事の内容は激しい時代の変化に応じて変えていっても基本理念だけは変えなかった会社を取り上げています。

(3) 「社会的使命(ミッション)」を貫き、「事業を継続」し、「卓越した業績」を目指す方は、ぜひご一読を。

- 2010 年 8 月 30 日林明夫記 -